

『学芸大学駅周辺地区整備計画』及び『学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画』の実現に向けて

～東西商店街通いにおける交通安全対策～ 「あんしん歩行エリア形成事業」を進めています

目黒区では、「学芸大学駅周辺地区整備構想」（平成18年度策定）で掲げた地区の“目指す将来の姿”の実現を目指して策定した『学芸大学駅周辺地区整備計画』及び、『学芸大学駅周辺地区交通バリアフリー整備計画』の各事業等の取り組みを進めています。

その一環として、平成21年度から、国の補助制度を活用し、学芸大学駅周辺地区の大きな課題の一つである、“安全・安心・快適な歩行ネットワークの形成”に取り組んでおり、順次整備工事を行っています。

平成24年度は、東西商店街通り（碑文谷公園通りから鷹番通りまで）が整備されました。

平成25年度整備予定事業（東西商店街通り（碑文谷公園通りの西側、鷹番通りの東側）については、関係機関等との協議等を進めており、協議の結果にもとづく事業の内容については、「学大街づくり通信」などで、地区の皆様へお知らせしてまいります。

また、平成24年夏に実施した「通学路における緊急合同点検」の結果をふまえ、碑文谷公園通りの碑文谷公園前交差点の安全対策について、交通管理者等と協議・調整を行っており、平成25年度の工事を予定しています。

「あんしん歩行エリア」とは

「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」で、国土交通省及び警察庁が、歩行者や自転車の安全通行の確保のために、総合的な安全対策を面的に進める地区として選定したエリアのことです。

交通安全対策は、以下の「整備順序の考え方」に基づき、順次進めていきます。

- 1) 自動車交通が集中し、かつ、通過交通比率が高い路線
- 2) 歩行者が集中する「歩行者優先ゾーン」や児童への注意が特に必要となる「スクールゾーン」に接する路線とそのゾーン内側の路線
- 3) 危険度が高いとの指摘が多い路線や交差点

交通安全施設整備の内容について

■「あんしん歩行エリア」入り口「標識」



■交差点の「カラー化」等による交差点部の明確化



平成24年度整備箇所(路線)

- 東西商店街通り (碑文谷公園通りから鷹番通りまで)

平成23年度整備箇所(路線)

- 鮫洲大山線
- 旧六中南側道路
- 鷹番通り

平成25年度整備予定

- 東西商店街通り (碑文谷公園通りの西側、鷹番通りの東側)



＜東西商店街の整備後の状況＞

■ 全面カラー化等による他の路線との差別化及び歩行者の視認性確保による安全性の向上



▼ 街づくりの取り組みを紹介します！

学大東西商店街通いが整備されました！ 地域の皆様のご協力をお願いいたします！

学芸大学駅周辺商店街では、「地元可愛、地元と会話のできる商店街にするために」を目指して、平成22年度より「学芸大学駅周辺地区自転車対策等連絡会」、「各商店街振興組合理事会」、「地区懇談会」、「学大商店街の街づくりを考える会」などにおいて検討を重ね、各商店街が主体となって取り組む「学大商店街ルール」を作成しました。



～学大商店街ルール～

地元可愛、地元と会話のできる商店街にするために

以下の項目ごとに、まずは店主等が心がけるルールとしてまとめています。区は、こうした取り組みを継続的に支援してまいります。

- | | |
|------------------|-------------|
| [きれいな商店街づくりのルール] | [商品陳列のルール] |
| [店舗づくりのルール] | [自転車利用のルール] |
| [商品搬入のルール] | [みんなのルール] |

「学大商店街ルール」では、地域の皆様への呼びかけも行うこととしています。

地域の皆様のご協力をお願いいたします。

- ◆歩きたばこはやめましょう。<子どもの目の高さで危険です！>
- ◆ガムやごみのポイ捨てはやめましょう。<ごみは持ち帰りましょう！>
- ◆歩行者が多いところでは自転車から降りて
ゆっくり押して歩きましょう。<接触事故を防止しましょう！>
- ◆道路(特に歩行空間)に自転車を置いたままにしないようにしましょう。

<歩行の妨げになります。駐輪場にとめましょう！>

放置自転車対策 地域の皆様のご協力をお願いいたします！

現在、学芸大学駅周辺商店街では、学芸大学駅周辺地区における放置自転車対策等について、地元商店街、東急ストア、東急電鉄、区とで話合う場として、「学芸大学駅周辺地区自転車対策等連絡会」を適宜開催しています。

東西商店街(碑文谷公園通りから鷹番通りまで)は、交通安全対策を目的とした舗装工事が完了したことから、今後は、交通安全対策の効果を維持するためにも、店舗前における放置自転車対策を行うことが重要となっています。

そこで、東西商店街においては、「学大商店街ルール」を基本として、地元商店街、東急ストア、東急電鉄、区が協力してより効果的な放置自転車対策に取り組むことを予定しています。

なお、平成25年3月1日(金)には、駅周辺などの放置自転車対策を推進する地元の組織である「自転車対策協議会」(構成団体：住区住民会議、町会・自治会、商店会、警察署、PTA、鉄道事業者など)を開催し、東西商店街の整備工事に併せた放置自転車対策の取り組み周知と、連携・協力していくことを確認しました。

<学芸大学駅周辺における駐輪場>



道路(特に歩行空間)に自転車を放置したりしないなど、

地域の皆様のご協力をお願いいたします。

その他の取り組み

区では、「学芸大学駅周辺地区整備計画」等で定めた碑文谷公園のバリアフリー整備を、平成21年度より順次進めております。また今年度は、目黒区立碑文谷体育館の耐震補強工事などを行っています。

(右の写真：碑文谷公園の出入り口の車止め改良、出入り口の段差解消)

